

原料費調整制度に基づく平成30年4月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成29年11月から平成30年1月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
				→	反映		
					→	反映	
						→	反映

○平成30年4月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			平成30年3月検針分	平成30年4月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	188.10 円	189.52 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	178.80 円	180.22 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	169.66 円	171.08 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成29年11月から30年1月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	48,210 円/トン(10 円未満四捨五入)
平成29年11月から30年1月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	68,050 円/トン(10 円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 48,210 円/トン×0.9771 + 68,050 円/トン×0.0474	50,330 円/トン (10 円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	50,330 円－38,910 円＝ <u>11,400 円/トン</u> (100 円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年4月分検針の調整額(1m ³ あたり)	11,400 円×0.077 円÷100×1.08＝ <u>9.48 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成30年3月分検針の調整額(1m ³ あたり)	8.06 円(税込)
(4月分)対(3月分)増減(1m ³ あたり)	<u>+1.42 円(税込)</u>

平成30年4月分の単位料金を1m³あたり +9.48 円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成30年3月分料金	平成30年4月分料金	影響額
20m ³	4,450円	4,479円	+29円